

# 交流のひろば

情報をお寄せください。市役所広報広聴課 890-6642へ。

## 皆さんの支えあったから



先月一日、安全功労者内閣総理大臣表彰を首相官邸で受けた。「とても名誉なことです。でも、なぜ、わたしが選ばれたのだらうかと、びっくりしています。皆さんの支えがあればこそです。交通安全は一人です。」

交通安全で内閣総理大臣表彰  
関口 一郎さん(72)  
若宮町一丁目

「ものじゃないですから」平成十二年までの十六年間、県一輪車安全運転指導員協議会会長を、同協議会前橋支部長は現在まで二十九年間務めている。長年にわたり、交通安全に尽力してきたことが認められた。「表彰式には息子夫婦と一緒に出席しました。小泉首相から表彰状を手渡され、パーティーでは石破防衛庁長官と二人だけで記念写真も。これを支えにして、交通安全にずっと尽くしていきたいと思っています」

「わたし自身は三十五年にわたり無事故無違反。安全運転の指導員として、高校や高等専門学校などの安全運転教室、原付自転車免許の合格者実技指導などをしていますが、若者の無謀運転をなくすためには、地道に取り組むしかありません。スピードを出さないように、繰り返し声を掛けて指導しています」

「都内に住む孫に会うことが楽しみとほほ笑む。その優しい笑顔が、交通安全を大きく広げている。」



## 新卓球愛好会 10周年迎えて

一之宮町・下境薫雄

新卓球は、軽くて大きいラージボールを使い、初心者や高齢者でも楽しめる新しい卓球。今年、群馬県で開催されるねんりんピックもこのルールです。わたしも会員になっているひろせ老人福祉センターの「ひろ

せ新卓球愛好会」は、卓球を愛し、人と人との触れ合い親ほくを深め、楽しんでいきます。今年十周年を迎え、六月二十一日に十周年記念大会を盛大に開催しました。参加者の最高齢は九十歳。卒寿を迎えても元気にプレーする姿を見て、勝負より競技できる幸せを感じました。

卓球は室内で気軽にでき、高齢者に人気があります。長寿社会の今日、寝たきりにならないように、自分に合った運動をすることで、健康で充実した毎日になります。健康は一生の宝。これからも体に気を付け卓球を愛し続けたいと思います。人と人の触れ合いを大切にしたい。

## まちのNews のニュース



宮地町

## 無病息災願い 伝統の神樂回し



宮地町の西地区で七月十八日、神樂回しが行われました。言い伝えでは二百年以上前、この地区に疫病がはやったことから始まった伝統行事。お酒などを振る舞った後、獅子舞を先頭に参加者全員で全戸を回ります。獅子に頭をかじってもらうと、無病息災がかなうとのこと。しかし、恐ろしい獅子が近づくと、泣いてしまう子どももいれば、はしゃぐ子も。

「最近では地域の行事も少なくなり、連帯感が薄れる中、協力し合ってこの行事も続いています。みんなで集まることは貴重な機会です」と参加者たちは話していました。